

GISフォーラム 2014 @ 沖縄

～ G空間社会の実現に向けて (G空間 × ICT) ～

概要

- 日時：平成24年12月5日(金)
- 場所：沖縄県立博物館
 - ・研究発表会 / 講演会 (講座室)
 - ・ワークショップ (実習室)
- 主催等
 - 主催：一般社団法人地理情報システム学会沖縄支部
 - 共催：NPO 法人沖縄地理情報システム協議会
 - 協賛：沖縄地理学会、南島地名研究センター
 - 後援：内閣府沖縄総合事務局(予定)
 - 総務省沖縄総合通信事務所
 - 国土交通省国土地理院沖縄支所
 - 沖縄県
 - 国立大学法人琉球大学(予定)
 - 一般財団法人衛星利用推進センター
 - 沖縄県情報通信関連産業団体連合会、
 - 株式会社琉球新報社(予定)
 - 株式会社沖縄タイムス社(予定)
- 研究発表 (講座室)
 - Assessment of Potential Dam Sites in the Kabul River Basin Using Geographical Information System
琉球大学大学院理工学研究所 Ahmadullah Rasooli
 - 「イリオモテヤマネコ研究における GIS の活用」
琉球大学理学部 ポスドク研究員 中西 希
- 講演会 (講座室)
 - 講演①：「京都の歴史 GIS」
ーデジタル・ヒューマニティーズの新たな展開ー
地理情報システム学会 会長
立命館大学文学部地理学専攻 教授 矢野 桂司
 - 講演②：「3次元データの活用」
アジア航測株式会社 沖縄営業所長 山本 芳郎
 - 講演③：「国土地理院の最近の施策について」
国土交通省国土地理院 沖縄支所長 筒井 俊洋
 - 講演④：「沖縄県数値地形図の民間需要調査について」
沖縄県企画部総合情報政策課 主査 仲西 康二
- ワークショップ (実習室)
 - ※無線 LAN 機能付のノートパソコンをご準備下さい。
5台まで接続可能な機器を用意しますが、数が限られるため
インターネット環境もご用意いただけると助かります。
 - WS①：「様々な統計地図やオリジナルな
分布図を作ってみよう」
琉球大学法文学部人間科学科 教授 宮内 久光
 - WS②：「QGISをGoogleEarthレベルで使えるようになる」
GIS 沖縄研究室 主宰 渡邊 康志
- 交流会

交流会

会費制 (3,000 円 / 人) 場所：おもろ殿内 (<http://www.omoro-kikaku.com/>)

講師への質問や感想など、セミナー内では聞けなかった関係者間の情報交換など、
交流・懇親を深めて研究やお仕事に役立てていただければ幸いです。ぜひご参加ください。

お申込み・お問い合わせは **NPO法人 沖縄県地理情報システム協議会**

住所：沖縄県那覇市久米 1-4-17 電話：098-863-7528 お申込み / FAX：098-860-0322

| | | |
|---|-----|-------|
| 組織名： | 電話： | 申込み者： |
| 氏名： | 所属： | 役職： |
| 参加にチェック： 研究発表 <input type="checkbox"/> 講演① <input type="checkbox"/> 講演② <input type="checkbox"/> 講演③ <input type="checkbox"/> 講演④ <input type="checkbox"/> WS① <input type="checkbox"/> WS② <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> | | |
| 氏名： | 所属： | 役職： |
| 参加にチェック： 研究発表 <input type="checkbox"/> 講演① <input type="checkbox"/> 講演② <input type="checkbox"/> 講演③ <input type="checkbox"/> 講演④ <input type="checkbox"/> WS① <input type="checkbox"/> WS② <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> | | |

メール (info@oki-gis.jp) でも受け付けています。上記の項目内容をご記入の上送信下さい。よろしくお願いたします。

GISフォーラム 2014 @ 沖縄

沖縄で唯一、産学官協力のGISイベント

～ G空間社会の実現に向けて (G空間 × ICT) ～

2014年12月5日(金) 沖縄県立博物館

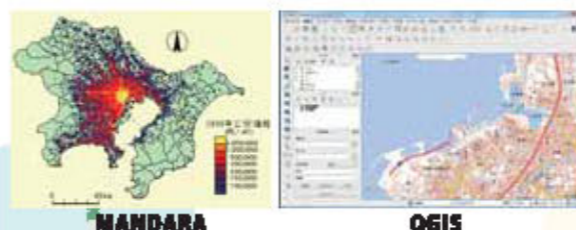
主催：一般社団法人地理情報システム学会 沖縄支部
共催：NPO 法人沖縄地理情報システム協議会

研究発表会 (講座室)

- Assessment of Potential Dam Sites in the Kabul River Basin Using Geographical Information System
発表者：琉球大学大学院理工学研究所 Ahmadullah Rasooli 氏
- イリオモテヤマネコ研究における GIS の活用
発表者：琉球大学理学部 水スドク研究員 中西 希 氏

ワークショップ (実習室)

- 様々な統計地図やオリジナルな分布図を作ってみよう
講師：琉球大学法文学部人間科学科 教授 宮内 久光 氏
フリーソフト「MANDARA」を活用して、国勢調査結果などからオリジナルの統計地図や分布図を簡単に作成できます。
- QGISをGoogleEarthレベルで使えるようになる
講師：GIS 沖縄研究室 主宰 渡邊 康志 氏
オープンソース GIS「QGIS」でWEB 地図を背景地図としてソフトに触りながら GIS を学習します。
※参加者準備ノートパソコン (要：無線LAN機能)



講演会 (講座室)

「バーチャル京都」 矢野教授の沖縄講演



① 「京都の歴史 GIS」
ーデジタル・ヒューマニティーズの新たな展開ー
講師：地理情報システム学会 会長
立命館大学文学部地理学専攻 教授 矢野 桂司 氏

歴史都市京都の膨大な地理空間情報を活用した「デジタル地誌学」あるいは「歴史GIS」を「バーチャル京都」で展開する。京都市明和図、古写真、祇園祭、洛中洛外など、過去に関する新たな地理空間情報は、歴史都市京都の景観復原に有益であるとともに、歴史学・日本文化学など人文分野へのGISの活用を促し地理情報科学のさらなる発展に大きく寄与する。

② 3次元データの活用
講師：アジア航測株式会社 沖縄営業所長 山本 芳郎 氏

③ 国土地理院の最近の施策について
講師：国土交通省国土地理院 沖縄支所長 筒井 俊洋 氏

④ 沖縄県数値地形図の民間需要調査について
講師：沖縄県企画部総合情報政策課 主査 仲西 康二 氏



GISフォーラム 2014@沖縄 ~G空間社会の実現に向けて(G空間×ICT)~

あいさつ



町田 宗博



小波 玠

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より私共の活動にご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地理情報システム学会沖縄支部 (GISAO) と沖縄地理情報システム協議会 (GIS 協) では恒例になりました「GIS フォーラム 2014in 沖縄」を今年も共催する運びとなりました。

講演会では、地理情報システム学会の矢野桂司会長に、歴史都市京都を舞台として、歴史や文化といった階分野と協働した歴史 GIS の成果についてお話いただきます。バーチャルに展開する景観復元は、宇陀や市町村誌、観光関連の担当者や研究者、戦争や軍事基地により失った自分の故郷の情景へ思いを寄せる人々には、たいへん刺激的なものになるかと思えます。また、国土地理院やアジア航測株式会社からは、国土基盤情報の現状や最新の技術動向についてご講演いただきます。それに沖縄県から県が整備した地形図の複製頒布についてご紹介いただきます。さらに、近年のフリーの GIS データの増加を踏まえこれを活用するための「MANDARA」や「QGIS」などの無料ソフトのワークショップを開催します。実際に GIS データに触れることによって GIS が単に場所の確認や道案内のツールでなく、思考や発見のツールとなることがわかりいただけるかと思えます。沖縄ではめったにない機会です。すべては、無料で参加できます。関係者一同、ご来場を心からお待ち申し上げます。 敬具

一般社団法人地理情報システム学会 沖縄支部長 町田 宗博
NPO法人沖縄地理情報システム協議会 理事長 小波 玠

研究発表会 (要申込)

1 Assessment of Potential Dam Sites in the Kabul River Basin Using Geographical Information System 11:00~11:30

発表者：琉球大学大学院理工学研究科 Ahmadullah Rasooli 氏

2 イリオモテヤマネコ研究における GIS の活用 11:30~12:00

発表者：琉球大学理学部 ポスドク研究員 中西 希氏



| 時間 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 |
|---------|------|-------|--|---|-------|--|-------|---|-----------------------------------|-------|
| 研究発表 | | | 研究発表①11:00~11:30 Assessment of Potential Dam Sites in the Kabul River Basin Using Geographical Information System | 研究発表②11:30~12:00 イリオモテヤマネコ研究におけるGISの活用 | | 講演①13:25~14:55 「京都の歴史GIS」 デジタル・ヒューマニティーズの新たな展開 | | 講演②15:10~16:10 3次元データの活用 | 講演③16:10~16:40 国土地理院の最近の施策について | |
| ワークショップ | | | ワークショップ①9:30~12:00 「様々な統計地図やオリジナルな分布図を作ってみよう」 | | | | | ワークショップ②15:00~17:00 「QGISをGoogleEarthレベルで使えるようになる」 | | |

講演会 (要申込)

1 「京都の歴史 GIS」ーデジタル・ヒューマニティーズの新たな展開ー 13:25~14:55

講師：地理情報システム学会 会長、立命館大学文学部地理学専攻 教授 矢野 桂司 氏

歴史都市京都の膨大な地理空間情報を活用した「デジタル地誌学」あるいは「歴史GIS」を「バーチャル京都」で展開する。京都市明細図古写真、紙図、活中活外国など、過去に関する新たな地理空間情報は、歴史都市京都の景観復元に有益であるとともに、歴史学・日本文化学など人文分野へのGISの活用を促し、地理情報科学のさらなる発展に大きく寄与する。



矢野 桂司

1961年 兵庫県生まれ。
立命館大学文学部地理学専攻教授 博士(理学)
1988年 京都府立大学大学院地理学専攻 博士課程中退
1988年 京都府立大学理学部助手
1992年 立命館大学文学部助教授を経て、
2002年から現職

現在、立命館大学アート・リサーチセンター長、
地理情報システム学会会長、人文地理学会評議員、
日本地理学会代議員、日本学術会議連携会員、
専門は、人文地理学、地理情報科学

主要な著書：
『地理情報システムの世界』(1999) ニュートンプレス
『デジタル地図を眺む』(2006) ナカニシヤ出版
『バーチャル京都』(2007) 共編、ナカニシヤ出版
『京都の歴史 GIS』(2011) 共編、ナカニシヤ出版



2 3次元データの活用 15:10~16:10

講師：アジア航測株式会社 沖縄営業所長 山本 芳郎 氏

レーザー3次元データを基に、現状のインフラの状況と今後の利活用 (MMS:モービルマッピングシステムの今後利活用) +航空レーザーデータとの融合

3 国土地理院の最近の施策について 16:10~16:40

講師：国土交通省国土地理院 沖縄支所長 筒井 俊洋 氏

「2014年11月に開催された「G空間エキスポ2014」、地理空間情報の共有・相互利用促進のための「G空間情報センター」、散在するG空間情報の円滑な利活用を目指す「G空間プラットフォーム」、G空間情報のICTによる利活用を促進する「G空間シティ」、「G空間社会実証プロジェクト」をはじめ、電子防災情報システムや国土地理院におけるオープンデータへの対応及び地域連携に関する取り組みなど多様な施策、取組等を紹介すると共に地域の課題等にも触れる。

4 沖縄県数値地形図の民間需要調査について 16:40~16:45

講師：沖縄県企画部総合情報政策課 主査 仲西 康二 氏

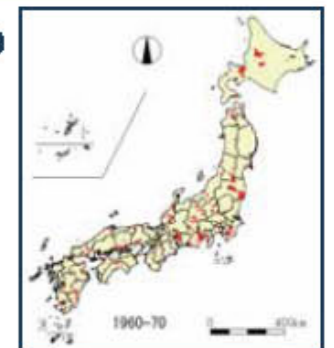
ワークショップ (要申込)

<準備するもの>
ノートパソコン無線 LAN が利用できるもの (インターネットで地図を DL します) Mac も可能ですが、wifi 接続設定やソフトダウンロード等は当方では対応しかねます。wifi は当方で 5 台まで接続できる機器を準備します。できればテザリング等インターネット環境を各自準備して下さい。

1 様々な統計地図やオリジナルな分布図を作ってみよう 9:30~12:00

講師：琉球大学法文学部人間科学科 教授 宮内 久光 氏

GIS の第一歩として、既成の統計を利用した統計地図や、オリジナルな分布図を作成してみましょう。用いる GIS ソフトは MANDARA というフリーソフトです。インターネットから国勢調査結果や電経情報等をダウンロードし、アドレスマッチングなどすることで、那覇都市圏の統計地図や分布図が簡単に作れます。



2 QGIS を GoogleEarth レベルで使えるようになる 15:00~17:00

講師：GIS 沖縄研究室 主幹 渡邊 康志 氏

GIS を普遍に利用できるようになるためには、「起動直後から背景地図が自由に使える」ということが非常に重要です。オープンソース GIS ソフトである QGIS も元来、一般の GIS ソフトと同様に解析機能は充実していますが、背景図などの地図データは準備しなければなりません。QGIS はバージョン 2 以降になってから、プラグインを利用して、簡単に web マップデータ (wms) を利用できる環境が整ってきています。この環境を十分活用できれば、グーグルアースレベルに、「ソフトを起動して、触りながら GIS を学習する」ということが可能になりそうです。そこで今回は、プラグインを使い web 地図 (WMS) を背景図とし、QGIS をグーグルアースレベルで使用できるようにすることを目指します。

